

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

東京外国語大学 学長 殿

新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航に関する誓約書

私は、海外渡航するにあたり、渡航先国・地域では自分自身で安全を確保しなければならないことを理解し、自覚と責任を持って、安全と健康に十分な注意を払うとともに、下記の事項を承諾・厳守することを誓約します。

記

1. 渡航先国・地域が新型コロナウイルス感染症の影響により外務省による感染症危険情報レベル2（不要不急の渡航取り止め）又はレベル3（渡航中止勧告）であることを確認し、自らの判断と責任で渡航します。
2. 渡航中における新型コロナウイルス感染症への感染については、自らの責任として対処します。
3. 渡航中の疾病に対し、十分な補償が受けられる海外旅行保険に加入しています。
(保険会社名： _____ 証書番号： _____)
4. 危機管理サービス（OSSMA）に加入しています。
(OSSMA 会員番号： _____)
5. 渡航先国・地域の政府からの指示や在外公館からの通知に注意をはらい、現地の法令を遵守するとともに、責任のある行動をとります。
6. 渡航先国・地域の治安や感染症の状況により、東京外国語大学が帰国勧告等を決定する可能性があることを理解し、その場合は速やかに指示に従います。
7. 裏面「新型コロナウイルス感染症の影響により感染症危険情報レベル2以上に指定された国・地域への渡航前に確認すべき項目」を確認し、内容について理解しました。

以上

学籍番号 _____

学生氏名（自署） _____ ㊟

保証人氏名（自署） _____ ㊟

新型コロナウイルス感染症の影響により感染症危険情報レベル2以上に指定された国・地域への渡航前に確認すべき項目

- (1) 渡航先国・地域における最新の感染状況を把握している。
- (2) 渡航先国・地域への渡航手段がある。
- (3) 渡航先国・地域に入国の可否及び入国に必要な手続きについて申請中又は完了している。
- (4) 渡航中の疾病に対し、十分な補償が受けられる海外旅行保険又は現地の保険に加入している。
- (5) 渡航先国・地域への入国時における水際措置及び入国後取るべき行動について把握している。
- (6) 渡航先国・地域で感染の疑いが生じた場合、濃厚接触者として指定された場合、感染した場合に渡航先国・地域において取るべき行動及び相談先を具体的に把握している。

例：

- ・ 相談できる機関
 - ・ 検査できる機関
 - ・ 受け入れ可能な医療機関
 - ・ 滞在先
- (7) 渡航先国・地域で必要な生活物資が確保できる。
 - (8) (留学の場合) 受入先大学等において留学生の受け入れ体制が取られている。
 - (9) (留学の場合) 受入先大学等において十分な防疫措置がとられている。
 - (10) 渡航先国・地域における新型コロナウイルス感染拡大抑止のための法令(マスクの着用等)を把握している。
 - (11) 今後、渡航先国・地域において(再)流行した際取るべき対応をシミュレーションしている。
 - (12) 海外渡航を学生本人および保護者(保証人)が強く望んでいる。
 - (13) 渡航先において重大事案に遭遇した際に、渡航先国・地域への入国時の水際措置等により、本邦からの迅速な救援活動が行えない可能性があることを理解している。